

交流
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、学生が活動できるプログラムがある ・恋に落ちやすい雰囲気 ・カップルがデートで使いたくなる雰囲気 ・見知らぬ人にも話しやすい雰囲気 ・同世代で和気あいあいと過ごしたくなる雰囲気 ・ユニバーサルデザイン 高齢者、障害者、外国人 ・オープンスペース（交流のための）丸テーブルとスツールにおいて、子ども、高齢者、若者、NPO 境目つくらない ・多文化共生のイメージ ・オープンスペース及び共用のスペースの利用は賛成
庭
<ul style="list-style-type: none"> ・庭園型 子ども、高齢者、子ども スペース ・広場をビルに緑地として提供するのだからその見返りを建物内で返してほしい
学び
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が作りこめるスペース ・学習会や集まりができる場所【大豊橋大学】 ・本来の図書館の機能も大事にしてほしい ・勉強、作業に集中できるスペース ・普段読まない本の（ちょっと背伸びして）手に取りたくなる雰囲気
雰囲気・空気
<p>“図書”を使わなくても過ごせる雰囲気</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びスペースがあって（見守ってもらえる）託児 大人は子どもと離れて大人のスペースで本が選べる ・おじさんがいびきをたてて寝られない雰囲気 ・開放感 本棚 ぎっしりしない 狭いけど広く感じる ・ずっといたくなる雰囲気 ・ワンフロアは親しみやすさ、明るさ（子どもが走り回れる） ・ワンフロアは静けさ、落ち着いた雰囲気 ・そこにいる自分がかっこいい（おしゃれ）だと思える雰囲気 ・知的雰囲気 ・リラックスできる雰囲気 ・ゆるい雰囲気 ・のんびりした雰囲気 ・入口が入りやすい建物は高感度が高い
入りやすさ、他の施設との曖昧さ
<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと時間ができたときに立ち寄りたくなる雰囲気 ・本を借りなくても気軽に出入りのできる建物にしたい ・何の用の無い時に（なくても）（まちに）行きたくなる雰囲気 ・建物は GATE（アプローチ）が重要 魔力・魅力が必要 ・オープンな大空間から入れる魅力的な誘惑感のある GATE! 一遍入ったらもう出られない ・図書館のアプローチ部分のオープンな共用部分をはっきりとる ・複合ビル（商業ビル）のメリットを最大限生かす 図書館へのアプローチを徹底して再開発側でとる ・境目があるようで無いようである図書館 思わず入り込んでしまう図書館 ・再開発組合にとっても商業スペースに客を呼べる公共施設は一大メリットがある ・再開発事業者は、このプロジェクトを完遂して欲しい。豊橋の街なかを函館のようにはしない。
感想
<ul style="list-style-type: none"> ・知らぬ間に図書館に入ってしまうというアイデアは素晴らしい ・北側に大きなガラス面を作り通りから中が見えるようにする案は大賛成です。中側から外側の広場の緑地が見える、癒しの空間も必須アイテムです。 ・1階、2階で図書館の意見同感です。 ・非常に幅広い意見が聞けて良かったが、実施となると取捨選択が難しいのではないか。